

第36回コーデックス残留農薬部会（CCPR）

平成16年4月19日～24日、インド・ニューデリーにおいて、第36回コーデックス残留農薬部会（CCPR）が開催される。政府代表団として、厚生労働省食品安全部、農林水産省消費・安全局、食品安全委員会事務局、環境省水環境部、及び独立行政法人食品総合研究所、農薬検査所から出席する予定。

○ 主な議題

議題3 本部会に付議された案件

第26回コーデックス総会等に関する報告

議題4 2003年FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）からの一般的審議事項の報告

2003年JMPRでの農薬評価における一般問題の検討に関する報告

議題5 経口摂取量に係るGEMS/Foodの進捗報告

WHOからGEMS/Food地域食モデルの改定作業完了及びカルボフランの短期摂取量推定について報告

議題6 MRL設定における食品由来暴露：コーデックスMRL設定のための確率論的手法

（Probabilistic Methodology）の採用に関する討議資料

残留基準設定にあたって行われる暴露評価の手法として、確率論的手法を採用するかどうか、そしてどのように運用するのかについて審議する。

議題7 食品および飼料の残留農薬基準値（MRLs）案の検討（ステップ7及び4の基準値案）

FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）の評価に基づき、食品中の残留農薬基準について、24物質の基準設定・見直しを行う。

議題8 残留農薬基準の設定にあたって部会が使用するリスク分析手法

CCPRにおけるリスク分析手法の原則を文書化することが総会から求められており、その文書案について審議する。

議題9 残留農薬分析法に係る検討事項

FAO/IAEA専門家会議結果の報告に基づいて、試験検査における不確実性の推計に関するガイドライン、残留農薬分析法リストの改訂、質量分析の残留農薬同定・確認・定性分析への使用のガイドラインなどについて審議する。

議題10 農薬に関するコーデックス優先リストの設定

JMPRにおいて審議する農薬の優先リストを検討する。

議題11 各国基準をコーデックスの暫定基準として設定するためのパイロットプロジェクト

コーデックス委員会における基準設定の迅速化をはかるため、各国が定める残留基準を参考にコーデックス暫定残留農薬基準を設定するパイロットプロジェクトが始まることから、3物質について暫定基準案を審議する。

議題12 香辛料の残留基準設定に係る検討資料

香辛料の残留基準設定に関連して、香辛料の定義、分類等について審議する。

＜我が国の基本的な考え方＞

国民の健康、食品の安全性確保を第一に、科学的知見に基づいた基準の設定や基準設定手続きの透明性確保などを基本姿勢とし、食品衛生法に定める残留基準などを踏まえ、本部会に対応することとしたい。